

令和6年度 生活支援コーディネーター(SC)顔合わせ会 令和6年5月10日(金)開催

連携・協働を促進するため、関係者が繋がりやすい関係づくりを目的に顔合わせ会を開催しました

開催内容

※第1層：大崎市全域 第2層：日常生活圏域（中学校区単位）

顔の見える関係づくりのため、仙台白百合女子大学准教授の志水 田鶴子 氏をお招きして、「関係機関の協働について」講話をいただき、グループに分かれて意見交換を行いました。

講話の内容

- ・些細な事の積み重ね、ありきたりな事の積み重ねが地域への愛着に繋がる。
- ・一方通行ではなく、双方向でのコミュニケーションが重要。自分の立場を主張しすぎると揉めたりするので、折り合いをどこでつけるかが大事である。
- ・SCは一人で悩み事を抱え込まないこと。雑談できる関係性の人を増やしていくようにする。



グループごとの意見交換(抜粋)

- ・地域の困り事や出来ない事に目を向けがちだが、地域で出来ている事などの強みに目を向けた方が良い。
- ・相談対応の内容についてもSCと共有していきたい。
- ・日々の何気ない会話からも困り事を拾っていけるようにしたい。